

第三部： 運用段階における不確実さの取り扱い

これまでの活動

「多分野連携SWG」として、建築分野以外における信頼性工学の利用動向などを調査。

昨年度より土木分野における信頼性工学の最新研究動向を把握するために、西尾真由子先生(横浜国立大学)に新たにWGに参画頂いている(本日下記内容で発表して頂く。)

第三部では、運用段階に入った構造物に対する不確実さの更新に関して、建築、土木分野の研究内容を紹介する。ここでは特に、

1. 建築構造モデルのシステム同定法の概要と振動観測記録による構造物の振動特性同定例、
2. 土木構造物に対する振動計測の活用概要とパラメータ不確定性の検討例に関する以下2題を報告する。

○肥田剛典(東京大学): 振動観測記録を用いた構造物のモデルの更新

○西尾真由子(横浜国立大学): 土木構造物・橋梁における振動計測の活用